

2025年10月29日

各位

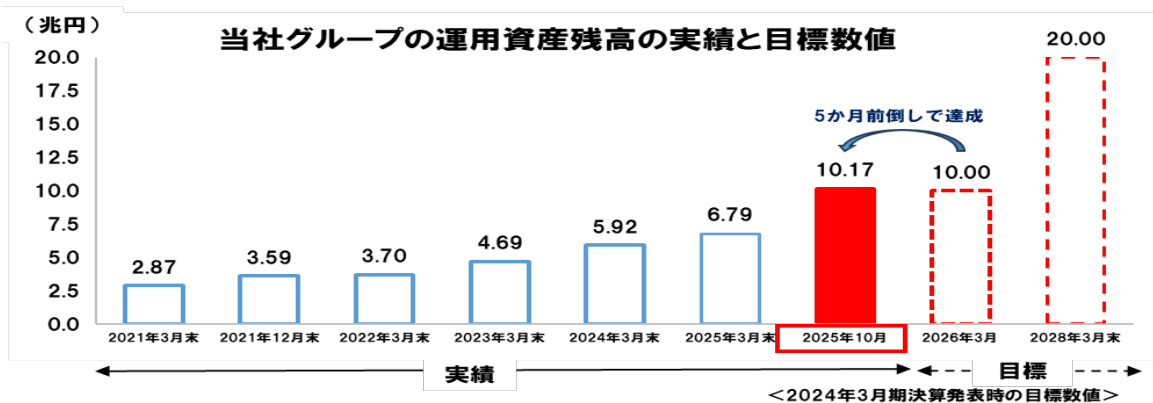
会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社  
 (コード番号 4765)  
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)  
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也  
 開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

**当社グループの運用残高は10兆円を突破—成長の新たなステージへ**

当社傘下の資産運用会社である SBI アセットマネジメント株式会社 (以下「SBI アセット」) 並びに米国の Carret Asset Management 等の運用残高合計が、2025年10月28日に8兆円に達し、2025年1月に7兆円を突破してから、わずか9ヵ月で約1兆円の増加となり、本年9月に当社子会社に加わりました SBI 岡三アセットマネジメント株式会社 (以下「SBI 岡三アセット」) の運用残高を加えたグループの運用残高合計が10兆円を突破しましたのでお知らせいたします。その結果、今期末 (2026年3月末) の目標額を5か月前倒しで達成し、2028年3月の目標額20兆円に向けて順調に運用残高が拡大しております。

SBI アセットが設定・運用する公募インデックスファンドは、約2.5兆円の純資産残高を有する「SBI・V・S&P500 インデックス・ファンド」など3兆円を超過した米国株式投資型インデックスファンドの他、「SBI・全世界株式インデックス・ファンド」などの全世界の株式や「SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド」など新興国株式に投資を行うファンドなど、インデックスファンド中心に残高を拡大してきましたが、アクティブファンドにおいても、「SBI 日本高配当株式 (分配) ファンド (年4回決算型)」や「SBI 欧州高配当株式 (分配) ファンド (年4回決算型)」など、多様な地域に投資を行うとともに、「成長」と「分配」を追求する年4回決算型シリーズも16ファンドを提供する他、2,000億円に到達した「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)」や、「SBI-Man リキッド・トレンド・ファンド」や「SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド (年4回決算型)」などのオルタナティブ投資型、設定来1か月で20%超のパフォーマンスを出している「SBI 次世代テクノロジー戦略ファンド」といったテーマ型ファンドの設定も進めております。

また SBI 岡三アセットが設定・運用する「ROBOPRO ファンド」は設定来1年10ヵ月で純資産1,500億円を、「外貨建 MMF (米ドル)」が設定来10ヵ月で700億円を突破するなど、2022年12月の SBI グループ入り以来、SBI とのシナジーを活かして53%の運用残高増となるなど、グループを挙げて投資家の皆さまの多様なニーズにお応えする商品を提供することで広くご支持をいただいております。



また SBI アセットは、公募ファンドに加え、地域金融機関や企業年金基金および大学・財団等から受託している私募ファンド (投資一任及び投資助言含む) の運用残高も2.8兆円まで拡大しており、2年後の2028年3月末の目標として掲げる20兆円の運用残高に向けて、今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供し、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上